

編集室

* 本2021年1月号の特別小特集では、「産業の新たな変革をけん引するICT技術」と題して、ICT技術の様々な産業分野への貢献と期待についての特集を組んでいます。また、「ウイズコロナ緊急連載」で連載中の様々なオピニオンリーダーの方々からの情報発信、「COVID-19禍環境における技術活用に関する分析と考察」の解説記事、「GITI Forum2020—ICT技術で乗り切るコロナ社会—」の報告など、新型コロナウイルスに関連する記事も複数掲載されています。いずれの記事も生活の質の向上や社会課題の解決に向けた様々な立場での研究者・技術者たちの強い思いが感じられる記事となっています。専門分野の

論文誌に掲載されるような研究成果や新技術の背景にある研究者・技術者たちの課題感や取組みを記事にできるのは、会誌ならではのメリットです。会誌の存在意義の一つだと思っています。エレクトロニクスから情報通信サービスまで幅広い技術分野をカバーし、ジュニア会員からプラチナクラブまで幅広い年齢層を対象とした会誌だからこそ、多くの読者層を対象に社会に向けたメッセージや様々な社会課題への取組みなど、研究者・技術者たちの思いが伝わる会誌ならではの記事をこれからも積極的に掲載していきたいと思います。

(編集理事 川端明生)

2月号小特集予定目次 「農業とエレクトロニクス」

小特集編集にあたって	編集チームリーダー	庄司雄哉
1. 農業生産者の勤と経験を補完する計測技術	川原圭博	仙田 薫
2. 農園芸分野における情報通信技術 (ICT) の導入状況と今後の展望	大山克己	北宅善昭
3. スマート農業におけるセンシング技術		近藤 直
4. 月での米作りのための自動化・センシング技術	鹿島光司	伊藤浩之 深水克郎 大場隆之